

株式会社UACJ

〒100-0004
東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
お問い合わせ：saiyo@uacj.co.jp
採用ホームページURL：http://www.uacj.co.jp/recruit/



Next Step 次の成長ステージへ。

RECRUITING INFORMATION 2024



Next Step

新たな未来に向けて 成長するUACJ

非鉄金属素材のリーディングカンパニーとして
暮らしや産業のさまざまなシーンに
高付加価値な素材を提供しているUACJ。
そして今、アルミニウムが持つさらなる可能性に挑戦し
新たな未来を切り拓こうとしています。

アルミの可能性	3
UACJの事業	5
事業フィールド	7
UACJの歴史	9
研究開発	11

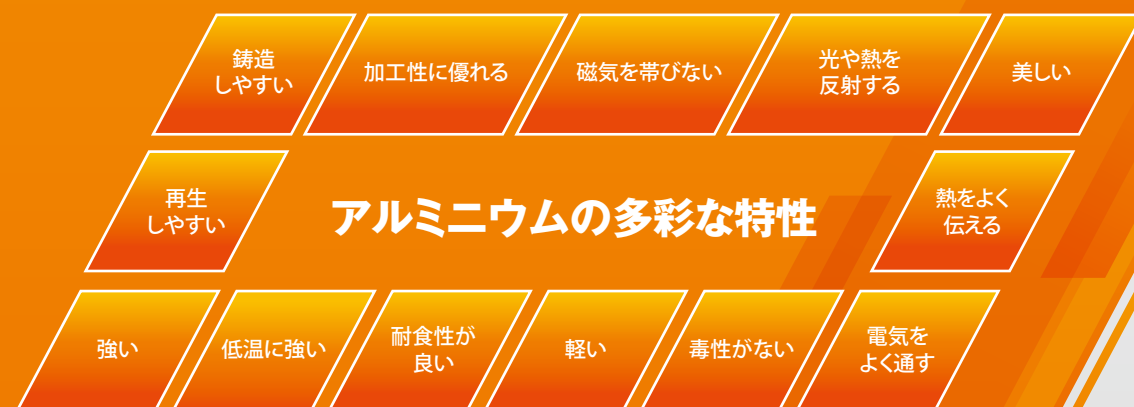
UACJの成長戦略	13
UACJの素顔!	19
JOB INDEX	21
教育研修	23
拠点一覧	24

人事部長メッセージ	25
募集要項	26
求める人物像	26
選考フロー	26

Next Step

アルミの可能性

発見からまだ200年。
進化を続けるアルミニウムは、
活躍の場を広げ続けています。



世界のアルミニウム新地金生産量推移



軽い、強い、加工性に優れる、熱をよく伝える…など、ほかの素材と比べても圧倒的に優れた特性を持つアルミニウムは、発見されてから200年という若さ。現在も、ニーズの多様化に合わせてさまざまな特性を実現するなど、まだまだ無限の可能性を秘めているのです。

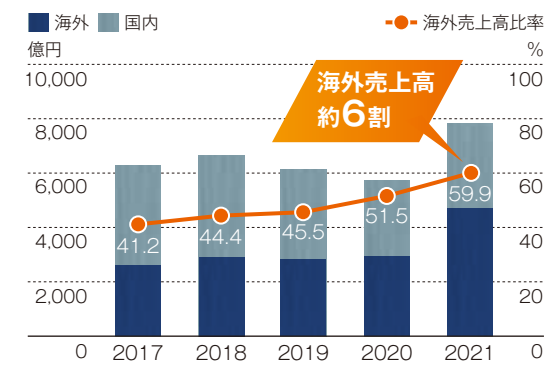


(出典:一般社団法人日本アルミニウム協会)

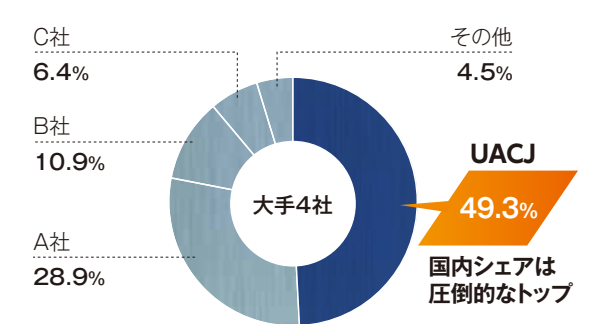
アルミニウムで社会を豊かに。

国内で随一、そして世界でも数少ない“アルミニウム総合メーカー”として、幅広い産業分野のニーズに、グローバルな規模で応えています。

エリア別売上高比率



アルミニウム圧延品国内生産量比率(2021年度)



(出典:カロス出版アルミニウム情報ファイル2022年度版)



板事業

世界最大級の生産能力を活かして高品質な板製品を供給

世界最高水準の板厚制御技術や、全長400メートル、幅4.3メートルにおよぶ世界最大級の大型圧延機など世界トップクラスの生産能力を誇ります。高度な生産技術と独自のノウハウを結集し、さまざまな製品を供給しています。

自動車部品事業

メーカーと綿密に連携し次世代の自動車づくりに貢献

国内トップのアルミニウムメーカーとして培ってきた知見と生産技術を活かして、お客様のものづくりのパートナーとして高い品質要求に応えるとともに、日本に留まらず、北米、中国、東南アジアなどグローバルに製品を供給しています。

押出事業

業界をリードする技術力を活かして幅広いニーズに対応

製造、金型設計、さらには各種の成形加工において、豊富な経験に裏付けられた技術力を活かし、高品質な押出製品や押出加工製品を生産。自動車、産業機器、航空機、OA製品など、幅広い分野のニーズに応えています。

箔事業

電池分野をはじめ先端ニーズに応える製品開発に注力

食料品や医薬品などの包装材から、家庭用ホイルなどの日用品、電解コンデンサーや電池用の電極材料などの先端の産業用途まで、さまざまな分野に高品質なアルミニウム箔や金属箔を提供しています。

鋳鍛事業

高度な技術力と生産体制を活かして高い競争力を持った製品を実現

鋳物分野では、精密鋳造技術を活かした世界シェア1位のターボチャージャー用コンプレッサホイールをグローバルに供給。鍛造分野では、国内最大規模の鍛造プレス機を駆使して、大型鍛造品のニーズに応えています。

加工品事業

多彩な設備と技術を活かしてあらゆる加工ニーズに対応

成形加工から接合加工、表面処理、塗装まで、あらゆる加工ニーズに対応できる設備と技術を有しています。多様なサイズ、形状、機能を持った加工品を生産し、幅広い産業分野のニーズに応えています。

飲料缶からロケットまで。

アルミニウムは、暮らしや産業のさまざまなシーンで活躍しています。

飲料缶

リサイクルに適した環境に優しいエコ素材

「急速に冷やせる」「軽い」という特性から、アルミニウム缶が多く利用されていますが、近年とくに重視されているのが「リサイクルのしやすさ」。回収されたアルミニウム缶から再生地金をつくるために必要な電力量を新たな地金をつくる場合と比較すると90%以上のエネルギーが節約できます。

情報・モバイル機器

小型・薄型化や軽量化の要求に応えるとともに、多機能・高機能化を支える電子部品も供給

軽量で丈夫、放熱性に優れて高級感もあるアルミニウムは、さまざまな情報・モバイル機器の小型・薄型化、軽量化に欠かせない素材として幅広く採用されています。UACJは、世界最高レベルの精密加工技術を駆使して、先端機器に最適なボディ材や多機能・高機能化を支える電子部品を提供しています。

風力・太陽光発電

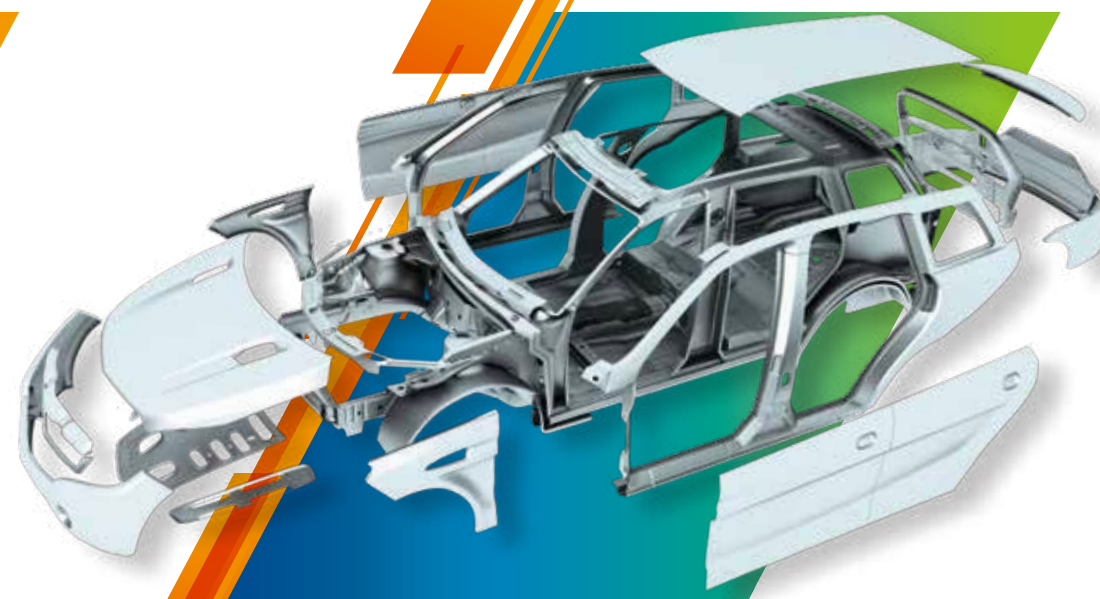
再生可能エネルギーの普及に欠かせない蓄電池の大容量化に貢献

エネルギー問題の解決に向けて、風力や太陽光など再生可能エネルギーが注目を集めています。安定電力として普及させるためには、電力を貯める「蓄電技術」が重要になります。UACJは、産業用・家庭用の蓄電モジュールとして期待が高まるリチウムイオン二次電池の大容量化に向けて、電極材に使用されるアルミニウム箔集電体の研究に注力しています。

LNG船

環境に優しい新エネルギーとして注目を集めるLNGの保管・輸送に不可欠

LNG(液化天然ガス)は、 -183°C という極低温で保管・輸送されます。UACJは、この極低温に耐えるLNGタンカー用のアルミニウム材を供給できる、国内で唯一、世界でも数少ないメーカーとして、大きな存在感を示しています。



自動車

環境に優しいクルマの開発・普及を素材面からサポート

環境意識の高まりから、ガソリン車の燃費向上とともに電気自動車やハイブリッド車など次世代自動車の開発・普及が世界的に進んでいます。UACJは、車体軽量化に貢献する自動車ボディパネル材やハイブリッド車の性能を左右するコンデンサ(蓄電器)など、さまざまな自動車用アルミニウム部材の開発・提供に注力しています。

ロケット・宇宙ステーション

宇宙開発計画に欠かせない高力アルミニウム材料を提供

宇宙ロケットには、打ち上げ時のエネルギーを削減するために、軽量化に有効なアルミニウム材料が採用されています。たとえば、2001年に運用を開始した国産ロケット「H2A」の主要部品には、UACJの開発した溶接可能な高力アルミニウム材料「AA2219」が採用されています。

航空機

認定メーカーとして世界の航空機メーカーに高品質なアルミニウム合金を供給

航空機の分野では、安全性・信頼性に万全を期すために部品や材料に厳しい独自規格が設けられており、認定を受けたメーカーのみが製造・供給を許されています。UACJは、この国際認定を取得した世界でも数少ない存在として世界の航空機メーカーにアルミニウム部材を供給。国内では、三菱航空機(株)が開発した国産初のリージョナルジェット機※「MRJ」に部材を供給しています。

※座席数50～100席の小型ジェット機

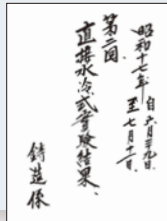
アルミニウムとともに。

100年以上にわたって、アルミニウムの可能性を切り拓いてきました。

1944

国内初となるアルミニウムの水冷式鋳造を実現

ドイツからの技術導入により、国内では初となるアルミニウムの水冷式鋳造に挑戦。それまでの金型鋳造に比べて10倍以上の生産性向上を果たす「水冷式半連続鋳造」を実用化しました。



実験レポートの表紙

1994

1994年に打ち上げられたH2ロケット用のアルミニウム広幅板材を開発

宇宙空間という過酷な環境に耐える信頼性の高いアルミニウム材料を開発。純国産の大型2段式ロケット「H2ロケット」の一段目胴体用幅広板材として採用されました。



©JAXA

2015

アルミニウム製軽量バンパーアセンブリーが新型「マツダロードスター」に採用

2015年5月に販売開始された新型「マツダロードスター」に採用されたバンパーアセンブリーは、材料・工法の最適化により従来比約32%の軽量化を達成。車体軽量化に大きく貢献しています。



2019

R&Dセンター リニューアル

研究者が互いに刺激し合う環境の構築を目指し、執務エリアや実験室のスペースを拡張したほか、人・知識・知恵・製品と技術の融合を図るためのイノベーションエリア「U-AI Lab.」とUACJの技術を紹介する「歴史未来館」を新設しました。



古河スカイ

- 1905年 アルミニウム板圧延開始
- 1910年 アルミニウム電線の研究を開始
- 1944年 国内初となるアルミニウムの水冷式鋳造を実現
- 1970年 国内初のアルミニウム製LNG地上タンク用厚板を製造開始

- 1971年 国内初のアルミニウム缶ボディ用材料を製造開始
- 1983年 福井で世界有数最新鋭の板圧延工場が稼働
- 1998年 インドネシアにPT. Furukawa Indal Aluminumを設立

- 2003年 古河電工(株)とスカイアルミニウム(株)のアルミニウム事業が統合し、古河スカイ(株)を設立
- 2005年 中国に押出事業の現地法人を設立
翌年にはベトナムに鋳物事業の現地法人を設立

- 2007年 設備投資が必要な板事業で、海外企業との提携を推進
- 2007年 ギリシャ、英国、韓国、中国など、有力アルミニウム会社に、順次資本参加
- 2012年 タイに、自社のアルミニウム板圧延工場の建設を開始

- 2013年 古河スカイ(株)と住友軽金属工業(株)が経営統合し、(株)UACJが発足
- 2015年 バンパーアセンブリーが新型「マツダロードスター」に採用
- 2015年 海外一貫生産工場本格稼働

主な社会の出来事

1900

- 1923年 関東大震災
- 1964年 東京オリンピック開催
- 1970年 大阪で日本初の万国博覧会開催

- 1989年 ベルリンの壁崩壊
- 1992年 日本人初の宇宙飛行士毛利衛氏宇宙へ
- 1994年 H2ロケット初号機の打ち上げ成功

2000

- 2001年 米国で同時多発テロ発生
- 2003年 ヒトゲノム解読完了
- 2005年 京都議定書発効

- 2008年 リーマン・ショック
- 2011年 東日本大震災
- 2012年 東京スカイツリー完成

UACJ

住友軽金属

- 1898年 国内初のアルミニウム圧延事業を開始
- 1936年 世界初の超々ジュラルミンを開発
- 1941年 名古屋に名古屋軽合金製造所を建設
- 1959年 住友金属工業(株)の伸銅、アルミニウム圧延部門が分離して住友軽金属工業(株)を設立

- 1964年 国内初のアルミニウム飲料缶ふた材を開発
- 1966年 アルミニウム板新熱間圧延設備が稼働
- 1979年 SLMオーストラリアを設立
- 1990年 スミケイマレーシアを設立
- 1995年 住軽(広州)金属製品有限公司を設立

- 2002年 住軽チェコ有限会社を設立
- 2009年 日本アルミ(現・ナルコ岩井)グループを設立
- 2010年 住軽テクノグループを設立

- 2011年 世界のアルミニウム缶市場の4割を占める米国での事業拡大を目的に、古河スカイ(株)など共同でアルミニウム板圧延製造販売会社の株式を取得

- 2016年 北米の自動車市場向け戦略的投資を拡大
- 2017年 メキシコに自動車関連部品の販売会社を設立
- 2019年 R&Dセンター リニューアル
- 2020年 自動車パネル用アルミニウム材製造設備の新工場棟を竣工

1898

国内初となる民間でのアルミニウム圧延事業を開始

日本の近代産業が黎明期にあった明治時代、当時の国内で最も近代的な民間伸銅工場であったのが、住友軽金属工業の前身となる住友伸銅場でした。大阪砲兵工廠からの委託を受け、この工場ではアルミニウム板の圧延を開始したのが、日本で最初の民間工場としてのアルミニウム圧延とされています。

1936

世界初の超々ジュラルミンを開発

アルミニウム合金の一種であるジュラルミンの国産化に取り組みはじめたのは1919年のこと。その後、航空機向けに強度を高め、1935年に超々ジュラルミンを、1936年に超々ジュラルミンを開発し、ゼロ戦の高性能化に貢献しました。



2015

日本のアルミニウム圧延メーカー初の「海外一貫生産工場」が本格稼働

2012年からタイで建設を開始したアルミニウム圧延一貫生産工場が2015年8月に完工。世界トップクラスの製造・供給拠点が本格稼働開始しました。



2020

自動車パネル用アルミニウム材製造設備の新工場棟を竣工

車体の軽量化を実現する手段として、各国の自動車メーカーがパネル材や構造材に軽量のアルミニウム素材を採用する動きが活発化するなか、需要拡大に対応するため、福井製造所に自動車パネル用アルミニウム材の新工場棟を建設しました。



アルミニウムの 新たな可能性を追求。

アルミニウム圧延業界で世界トップクラスの
研究開発体制を構築しています。

アルミニウムの工業化当初から 高い技術力で業界をリード

工業化されてから百数十年の若い金属であるアルミニウムは、優れた特性によって大きな成長を遂げ、現在の社会を支える金属になりました。UACJ R&Dセンターは、アルミニウムの歴史とともにさまざまな知見・技術を蓄積するとともに、数々の発明や日本初の製品を世の中に送り出してきました。そして現在、UACJグループの研究開発の要として多様なリソースを結集し、革新的な次世代製品・技術の開発に挑戦し続けています。

R&Dセンター（愛知県名古屋市）

業界トップクラスの 300名超の研究員を擁する研究開発体制

R&Dセンターでは、お客様の多様なニーズや環境・エネルギーの社会変動に対応するため、基盤技術の開発から製品および利用技術の開発まで、一貫した研究開発を進めています。300名超の研究員が、最先端の技術と高精度な解析装置を駆使して、アルミニウムの新たな可能性を見出し、社会に役立つ製品の創出に取り組んでいます。

国家プロジェクトへの参画や お客様との連携を通じて アルミニウムの新たな可能性を追求

次世代技術の開発やアルミニウム製品の需要を喚起していくためには、素材そのものの機能・品質の向上はもちろん、加工技術・接合技術の革新による新用途の開拓やコストダウンなどさまざまな技術課題を解決していく必要があります。UACJは、こうした革新的な研究開発の一環として、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のプロジェクトに参加して世界最高強度の国産アルミニウム合金の開発を推進するほか、大手自動車部品メーカーとの共同開発などを通じて、アルミニウムの新たな可能性を追求しています。



Next Step

UACJの成長戦略

国内NO.1、
世界でもトップクラスの
アルミニウムメーカーUACJは、
VISION 2030のもと、
新たな未来を見据えています。

2030年にUACJグループが「どうありたいか」「どうあるべきか」を定義した長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」。このビジョンの策定には、5年後、10年後に経営に携わる力を秘めた中堅・若手社員が参加して、企業理念の実現に向けてUACJがどのような役割を果たし、社会に貢献していくべきかなどについて議論を重ね、「モビリティ」「ライフスタイル・ヘルスケア」「環境・エネルギー」の3領域を10年後に活躍したい新規領域と位置付けています。

アルミニウムを究めて、サステナブルな社会へ

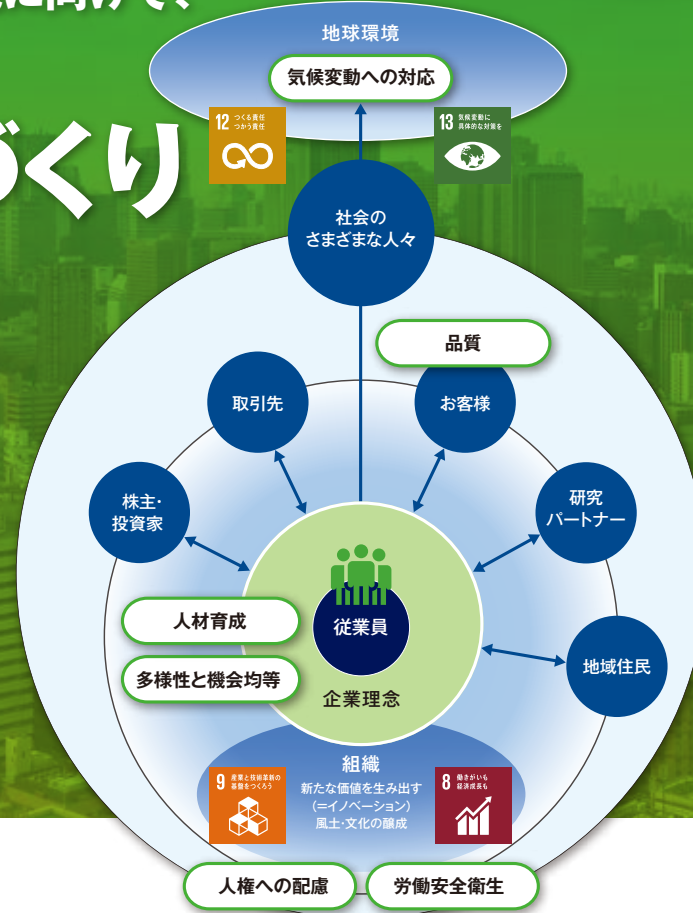
多彩な特長をもつアルミニウムのポテンシャルを
グループの幅広い技術で引き出し、さらに拡大していくことで
サステナブルな社会づくりに貢献していきます。



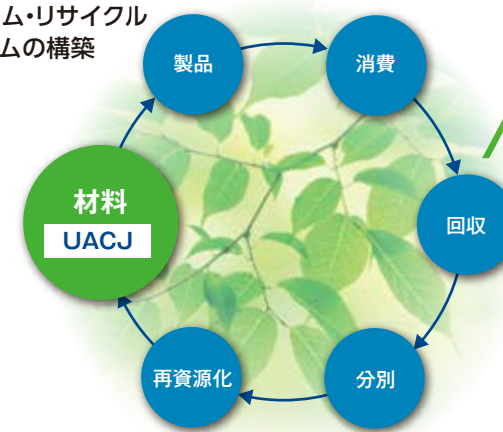
2030年にありたい姿の実現に向けて、 さまざまなステークホルダーとともに 持続可能な社会づくり を目指しています。

環境問題をはじめ、現代社会が抱えるさまざまな課題を将来に残さず、子どもたちの世代が、今より軽やかで楽しい未来を過ごすことができるように――。

UACJグループは、120年以上にわたり受け継いできた叡智と情熱、そして社員一人ひとりの多様な個性を活かしながら、ステークホルダーの皆さまとともに、さまざまなサステナビリティ活動を推進しています。



■アルミニウム・リサイクル エコシステムの構築



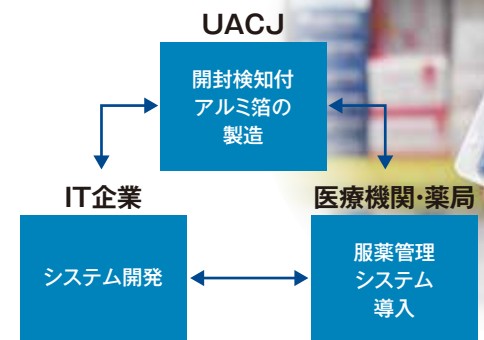
アルミニウム・リサイクル エコシステムの構築

UACJが製造するアルミニウムは、飲料缶や建材、自動車、電子デバイスなどさまざまな製品となり、消費されたのちに廃棄されます。使用済みのアルミニウムを回収・再資源化し、これを再び材料として製造するというリサイクルシステムの構築は、サプライチェーン全体のCO₂排出削減に大きく貢献します。UACJは、さまざまなステークホルダーとの協働のもと、リサイクルシステム構築の輪を広げるための挑戦を続けています。

異業種コラボレーションで 共同研究を推進

UACJは、「UACJ VISION 2030」において、“素材+αの価値”を創造し、社会課題やお客様の課題解決に貢献することを掲げており、この実現に向けて、社外とのコラボレーションを通じた付加価値創造に取り組んでいます。その一例が、「開封検知付アルミ箔を使用した服薬管理システムの共同研究」です。このシステムの実用化により、服薬管理の効率化と患者さんの健康促進への貢献を目指しています。

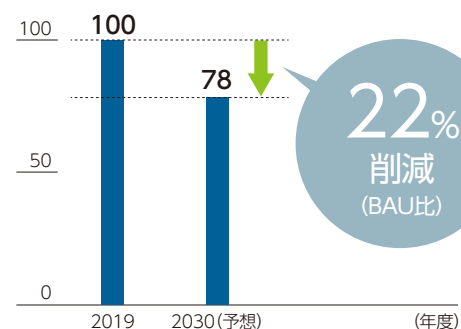
■服薬管理システムの共同開発



世界的な課題である 気候変動問題に貢献

気温や海水温の上昇の原因とされている気候変動は、私たち、そして将来の世代に大きな影響を及ぼす問題として世界的に対応が求められています。UACJグループも、気候変動対策を重要課題(マテリアリティ)の1つに掲げ、アルミのリサイクル技術の開発や再生エネルギー利用を促進することで、サプライチェーン全体のCO₂排出量削減に取り組んでいます。

■サプライチェーン全体での CO₂排出量の削減目標



ものづくり人材、 社内リーダー人材育成に注力

長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」を実現していくためには、社員一人ひとりの能力をグループ全体で活用していく必要があります。ジョブ・ローテーションや新規業務における公募制の設置を通じて、部門や拠点、年齢にとらわれない幅広い経験を積む機会を充実させ、将来のUACJをリードするものづくり人材・経営人材の育成に注力しています。

地域社会・未来世代 とのコミュニケーションを強化

UACJグループは、事業を通して社会に貢献するだけでなく、社会から信用・信頼される企業グループとして、地域と共生し、ともに発展していくために、環境保全・地域清掃活動、災害時支援などさまざまな活動を展開しています。また、次世代を担う子どもたちに、UACJやアルミニウムの特性や可能性を知ってもらうために、教育イベントへの参加やスポーツ教室の開催を積極的に行っています。

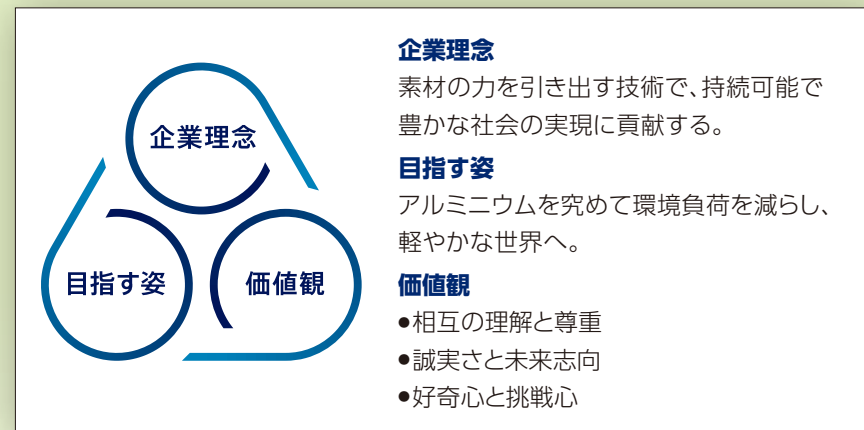


“Reborn”をキーワードに、 長期的に成長し続ける 筋肉質でしなやかな企業グループへの飛躍を目指して

選ばれる企業へ。UACJが歩み出した第一歩 グループ理念の再定義

古河スカイと住友軽金属の2社が統合し、2013年に誕生したUACJ。国内トップ、世界ではトップファイブに位置するグローバルアルミニウムメーカーとして、社内には活気にあふれていました。しかし、時の流れとともに当時の活気が失われつつあったなか、UACJは、新たな成長に向けて「理念再定義プロジェクト」をスタート。若手社員から経営陣まで、自分たちの存在意義から見つめ直し、“UACJらしい”理念を作り上げました。そして現在、このグループ理念に基づき、UACJの新しい風土・文化づくりに取り組んでいます。

UACJグループ理念



行動指針「UACJウェイ」と求める人物像

UACJの「求める人物像」は、「UACJウェイ」に紐づいています。

行動指針/UACJウェイ



- 自分自身の意見を持ちつつ、**お互いの考え方、価値観を認め**ポジティブな人間関係が構築できる方
- 誠実に仕事や人に向き合っ**て粘り強く取り組み、最後までやり切ることができる方
- 好奇心と挑戦心をもって、様々な課題に**楽しみながらチャレンジし、未来に向かって変革を起こそう**とすることができる方

Action 1 組織活性・風土改革 “まずは一歩 踏み出してみる”を 合言葉に。



生産性向上と、エンゲージメント(働きがい・やりがい)向上を目指して、**働き方改革**を推進。各拠点・各部署が自主的に活動内容を決めています！

ものづくり技術やビジネス英語などの通信講座や、オンラインで受講できるEラーニング講座など、さまざまな形で社員の**キャリアアップ**を後押ししています！



ダイバーシティの推進に向けて、性別や国籍、年齢に関わらず、社員一人ひとりが能力をいかに発揮できる環境づくりに積極的に取り組んでいます。



UACJグループの+αの付加価値・新事業となる可能性のある事業プランやアイデアを、社員から広く募集する**社内ベンチャー制度「UACJ Innovators」**を設置しています。



コロナ禍の影響から、在宅勤務などワークスタイルが大きく変化するなか、さまざまなスタイルで**社内コミュニケーションの活性・充実**を図っています。

入社後のキャリアに応じた階層別研修、職種や業務内容によって専門的なスキルを磨く研修やセミナーなど、**多角的な教育制度**を設けて人材育成を行っています。



Action 2 成長支援・後押し 社員の 挑戦や成長への 想いを支援。



Q UACJの 入社の決め手は?

- ものづくりを通して、社会に貢献できる!
- 社員一人ひとりを大切にしていると感じたこと!
- 専門性が活かしてやりたいことができる!
- 世界を相手に仕事ができる!
- 積極的な海外展開など将来性を感じた!

Q UACJココがすごい! と思う点は?

- 世界有数の技術力と設備!
- 世界の優良企業が顧客!
- 世界規模の競争力!
- 製品ラインナップの幅広さ!
- アルミニウムの国内トップ企業!



社員に聞く! UACJ

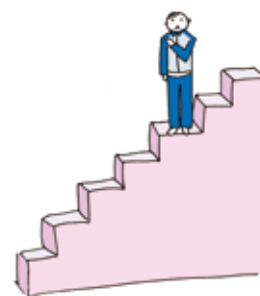
UACJについて知りたければ、実際にUACJで働く社員に聞くのが一番! 社員アンケートの結果を公開しちゃいます。



Q UACJの 社風・雰囲気について一言!

- 役職や年齢を問わず、皆さん話しやすい!
- フレキシブルで先進的な考え方で仕事をしている!
- 企業規模の割に社員が少人数で風通しが良い!
- 気さくでおおらかな人が多い!
- 上司との垣根が低く相談しやすい!

UACJ の素顔!



生産能力
約 **120** 万トン

板圧延品の生産能力では国内の圧倒的トップ。世界でもトップクラスに位置します。

歴史 **1900** 年



明治以来の歴史をもつ2社が統合して誕生したUACJ。その歩みは、日本の近代産業の歩みそのものといっても過言ではありません。

拠点数 約 **150** 箇所



グローバルネットワークの拡大とともに、拠点数もワールドワイドに拡大中。同時に、若い社員が海外に飛翔するチャンスも拡大中。

数字で見る! UACJ

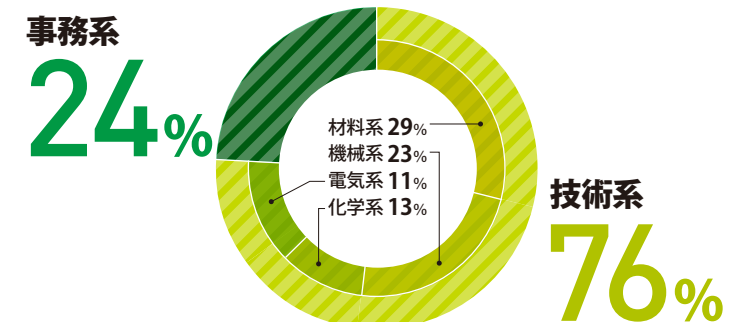
UACJという会社の持つグローバルなスケール感を、少しでも実感してもらえよう、特徴的な数字をピックアップしました。

グループ社員数 約 **10,000** 名

ただ多いだけでなく、外国籍社員の比率も拡大中。グローバルな環境で働くなかで、自然と国際感覚が身につきます。



技術系／事務系の比率



UACJ JOB INDEX

素材メーカーならではの業務の幅広さ、
グローバル企業ならではの事業エリアの広さを活かして
活躍の場を見つけてほしい。

事務系の仕事

営業

的確かつタイムリーにお客様のニーズを捉え、お応えするのが営業の使命。“求められる製品を、求められるタイミングで、求められる量を”供給するために、お客様・生産現場との緊密なコミュニケーションが欠かせません。

勤務地 ● 本社、支社、海外拠点(タイなど)

人事

人材の採用・配置、給与計算や労務管理など、社員がスムーズに安心して働くために必要なさまざまな業務を担い、企業の基盤である人材を支えます。

勤務地 ● 本社、国内各製造所

購買

モノづくりに必要な原材料や資材をはじめ、製造工程に導入される機材や設備などの購入に関して、必要とされる品質や機能を満たすものを適正な価格で手配する役割を担います。

勤務地 ● 本社、国内各製造所

法務

コンプライアンスに関する社内の相談窓口など、法律に関する業務を幅広く担うほか、取締役会や株主総会など各種会議体の運営に携わります。

勤務地 ● 本社

生産管理

お客様のニーズに沿って、生産計画の立案や製造工程の進捗フォロー、出荷の指示出しなどを担うモノづくりの“司令塔”。工程管理の経験・ノウハウは、営業をはじめ多くの仕事のベースと言えます。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

経理

製造所での会計処理をはじめ、本社での決算業務や債券管理、さらには財務戦略の策定など、事業活動の“生命線”とも言える資金の流れを司る仕事です。

勤務地 ● 本社、国内各製造所

経営企画

グループ全体の経営方針の立案から、事業ごとのマーケティング戦略、さらには海外企業との提携など、幅広い領域で会社の舵取りを担います。

勤務地 ● 本社

技術系の仕事

研究開発

金属組織や性質などを探求する「基礎研究」や、お客様のニーズを満たす製品を創造する「製品開発」を通じて、アルミニウムの新たな価値を創造します。

勤務地 ● R&Dセンター

設備技術

「より高品質な製品を、より効率的に、より低コストで」をテーマに、モノづくりの“要”となる生産設備の設計、開発から導入、補修・改善までをトータルに担います。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

システム開発

既存システムの改善から、DX推進の一環としての新規パッケージシステムの導入などまで、グループのさまざまな業務を支える各種システムの開発・保守に幅広く携わります。

勤務地 ● 国内各製造所

生産技術

製品のもととなるスラブ(塊)をつくる「鑄造」、板状に延ばす「圧延」、求められる形状に加工する「押出」「鍛造」など、生産工程に関する技術開発を担当します。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

製品技術

缶、自動車、ITデバイス、医薬品など、特定の製品についての材料開発、製造プロセスの最適化、製品化後の改良・改善など、技術開発・支援を総合的に担います。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

製品技術

担当の製品について深く関わることがで
きるのが大きな魅力。お客様と直接かか
わることが多く、コ
ミュニケーションカ
も欠かせません。



システム開発

企業内の情報システム担当とシステムベン
ダーとの大きな違いは、システムの
ユーザーとの距離が
近いこと。創り上げ
たシステムの成果や
喜びを社内で共有で
きることが大きなや
りがいです。



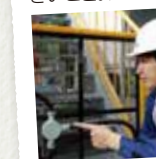
生産技術

既存ラインの改善から新生産プロセスの立
ち上げまで、仕事の幅広さはUACJのなか
で随一。モノづくりの
現場で技術的な責任
すべてを担います。こ
れをプレッシャーと捉
えるか、醍醐味と捉え
るかは、あなた次第!



設備技術

UACJの生産設備の特徴はスケールが大
きいこと。多数の設備がつながり製品を生
み出すダイナミズム
を支えるのが大きな
やりがいです。また、
現場の安全性の確保
も設備技術者の大き
なテーマの一つです。



研究開発

新たな価値創造には、生みの苦しみが付
きもの。地道な実験の日々がプレッシャー
になることもありま
すが、その積み重ね
があるからこそ、未
開の領域を切り拓い
ていくやりがいを感じ
ます。



経理

経理の仕事の基本は、データの集計・管理
といった地道なもの。細かい作業の積み
重ねの一方で、お金
の流れから経営状況
や課題などを読み取
るといった難しさと
やりがいがあります。



営業

だれもが社名を知りうな国内・外有数の
お客様を抱えるUACJ。その窓口として前
面に立つ責任は重い
ですが、自分の仕事と
社会とのつながりを
感じることができる
のが醍醐味です。



経営企画

会社を取り巻く環境や進むべき進路を
見据えながら、自ら課題を見出し、解決
していく姿勢が求め
られる仕事。会社の
将来を創る大きなや
りがいと責任を伴い
ます。



生産管理

モノづくりの現場は、お客様のニーズ、生産
現場の事情など、常にさまざまな変動要因
を抱え一筋縄ではい
かないもの。変化に
対応する苦勞を伴い
ますが、乗り越えた後
に得られる成長も大
きいです。



購買

購買担当の腕の見せ所は、必要なモノを、
必要な量だけ、必要な時に届けること。調
達先やお客様の需要
の動きを広く見渡し
最適解を導き出す醍
醐味は、この仕事な
らでの魅力です。



人事

人事の仕事の特徴は、業務内容の幅広さ。
常にマルチタスクを抱えて忙しく、さまざ
まな視点で社内を見
渡すことができる広
い視野と調整能力が
求められます。



Column

海外勤務について

グローバルに事業を展開するUACJでは、海外のお客様や取引先とのやり取りも多く、若手のうちから英語等でのコミュニケーションにチャレンジする機会があります。また、海外勤務を希望する社員については、現地の状況などを踏まえたうえで、柔軟に異動・配属を行っています。しかし、海外勤務は、語学はもちろん、日本国内で働く以上に高度なコミュニケーションスキルやマネジメント能力が求められることなどから、平均的には、入社5~6年以上の一定の業務経験を積んだ社員が海外勤務に就くことが多いです。



一人ひとりが成長を実感でき、
働きがいを感じられる教育研修

一人ひとりの能力を高めるために
職場での実践を軸にした
教育研修を実施します。

企業の基盤は人材であり、企業の総合力とは社員一人ひとりの能力の総和に他なりません。そして社員の能力を高めていくにあたっては、日々の業務を通じた実践的な教育こそが基本となります。

こうした考えのもと、UACJでは、各部門における業務を通じた上司や先輩からの指導を中心とした「部門内教育」を教育研修の要としています。これに加えて、「階層別研修」「スキル教育」「自己啓発支援」を3本柱とした人材育成を進めています。

階層別研修

仕事に必要な専門的・実践的な知識技能などを計画的に修得できるようにします。

スキル教育

各種の研修やセミナーを企画して、効果的・効率的に「必要なマインド・知識・スキル」を身につけられるようにします。

自己啓発支援

語学受講の補助や、通信教育の補助、外部教育講習への派遣などを通じて、自己啓発を支援します。



人材開発センター



入社

1
年目

●新入社員研修

入社直後から約3カ月にわたって、名古屋の人材開発センターで集合教育と工場実習を実施します。ここでは、UACJに関する基本的な知識をはじめ、社会人としての備えるべき知見、会社のルール、仕事の進め方などをじっくりと学びます。特に工場実習では、実際の製造現場での作業を通じて、メーカーの基本となる“ものづくり”を体感します。



●新入社員フォローアップ研修

入社1年目後期に、配属先での業務を通して学んだことを踏まえた研修を実施します。



●2年目研修

入社後1年間のまとめとして業務報告書を作成・発表し、3年目に向けた新たな目標を設定します。また、問題解決に関する講義なども実施します。



●3年目研修

新入社員期間の総仕上げとして、3年間の業務を振り返り、その成果や成長度合いを報告します。同期の社員同士で刺激を与え合うとともに、中堅社員として活躍するために必要なことを学びます。



●階層別研修

4
年目

アルミニウムの可能性を拓き、
価値を提供する開発・生産・販売ネットワーク

●製造拠点
▲営業拠点
■研究開発拠点



株式会社UACJ									
事業	営業部門	研究開発	管理部門	板事業	自動車部品事業	押出事業	鋳鍛事業	箔事業	加工品事業
		名古屋・深谷・福井・米国・タイ		国内製造拠点 名古屋・福井・深谷 海外製造拠点 タイ・米国	国内製造拠点 名古屋・小山 海外製造拠点 米国・中国	国内製造拠点 小山・名古屋・伊勢崎・滋賀 海外製造拠点 チェコ・タイ・中国	国内製造拠点 小山 海外製造拠点 ベトナム	国内製造拠点 伊勢崎・野木・滋賀 海外製造拠点 マレーシア	

アルミニウムの可能性を追求する “好奇心と挑戦心”にあふれた 人材を求めています。



人事部長
黒川 直治

UACJグループは、優れた特性を持つアルミニウムと100年以上にわたって向き合い、その可能性を信じて、より広範な領域で社会に貢献することを目指しています。現在、長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」のもと、さまざまな側面で、新たな価値の創造に取り組んでいますが、それらはすべて「持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念の実現に向けたものであり、「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界」を目指すことが私たちの存在意義です。

企業理念の実現に向けて、社員一人ひとりが行動の基準とすべき指針「UACJウェイ」では、グループ社員が共通で持つべき価値観として、「相互の理解と尊重」「誠実さと未来志向」「好奇心と挑戦心」という3つを掲げています。このなかで、私が特に重視すべきと考えているのが「好奇心と挑戦心」です。アルミニウムは、すでに広く社会のさまざまな分野で活用されていますが、まだまだ未知の可能性を秘めています。そうした可能性を探究し、広げていくためには、社員一人ひとりが好奇心と挑戦心を持ち、相互に刺激し合い、成長していくことが重要だと考えています。

UACJグループは、世界有数のアルミニウム総合メーカーとして、板製品、自動車部品、箔製品、押出製品、鋳物・鋳造製品、加工製品まで多彩なラインアップを有し、日本国内はもとより世界各国の多様な企業とビジネスを展開しています。また、アルミニウムの高リサイクル性を活かし、これからの時代に求められるサステナブルな製品を“生み出す喜び”もあります。こうした環境は、好奇心と挑戦心を高いレベルで維持する上で非常に有益であり、社員一人ひとりに成長機会を提供できるものと考えています。

また、社員の成長支援については、適切なジョブローテーションやキャリア形成を支援する「キャリア面談」など、個々の希望や能力に寄り添った取り組みを積極化するとともに、イノベーションの源泉となる「多様性」の確保にも注力しています。ここで言う多様性とは、国籍や性別の違いにとどまらず、年齢や経験・考え方の違いも指します。個々の意見・価値観の違いを前提に、社員が自由かつ自律的に発信し、互いを尊重しながらより良い方向を見出していく——こうしたコミュニケーションを促す環境・風土づくりを通じて、社員一人ひとり、ひいては会社の成長につなげていきたいと考えています。

UACJは、企業理念に共感し、無限の可能性を秘めたアルミニウムへの好奇心と挑戦心にあふれた方々を待っています。ぜひ私たちと一緒に「持続可能で豊かな社会」「軽やかな世界」の実現を目指して、挑戦していきましょう。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

募集要項

募集職種	事務系：営業（国内・国外）／生産管理、経理、購買、人事、企画 技術系：研究開発、生産技術、設備技術、情報システム
募集学科	文 系：法・経済・経営・社・外・商・文・教育など（学科不問） 理 系：材料・機械・化学・電気・電子・情報・物理・数学など
初任給	高専卒：月給20万5,850円 学士卒：月給22万2,150円 修士卒：月給23万5,950円 博士了：月給26万1,310円（2022年4月実績）
諸手当	家族手当、通勤手当、時間外手当ほか
昇給	年1回（4月）
賞与	年2回（夏・冬）
勤務地	本社（東京）、支社支店（愛知・大阪・福岡）、各製造拠点※（愛知・福井・埼玉・栃木ほか） ※含む研究所
勤務時間	本社・支社支店：9:00～17:45 製造拠点：各所により定める（フレックスタイム制あり 標準労働時間：7時間45分）
休日休暇	休日：完全週休2日制（土・日）、祝日、年末年始など、年間休日121日（拠点ごとのカレンダーあり） 休暇：有給休暇付与（20～25日／年）、慶弔休暇、積立休暇、介護休暇など
福利厚生	制度など：財形貯蓄制度、従業員持株会制度、退職金制度、積立休暇制度、住宅融資制度、育児休業制度、介護休業制度、寮・社宅、定期健康診断、成人病診断など 施設など：直営および契約保養所、運動場、テニスコート、サッカーグラウンドなど
採用人数	2024年4月：未定 2023年4月：技術系29名、事務系11名 2022年4月：技術系12名、事務系5名 2021年4月：技術系19名、事務系5名 2020年4月：技術系30名、事務系7名
選考方法	書類選考、WEB適性試験、面接
提出書類	履歴書 理系学校推薦の場合は、推薦状または準ずる書類

求める人物像

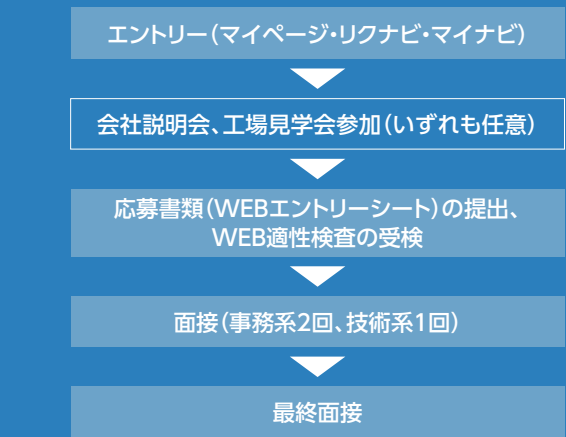
当社の理念に共感をいただけ、かつ、以下の素養をお持ちの方

- 自分自身の意見を持ちつつ、お互いの考え方、価値観を認めポジティブな人間関係が構築できる方
- 誠実に仕事や人に向き合って粘り強く取り組み、最後までやり切ることができる方
- 好奇心と挑戦心をもって、様々な課題に楽しみながらチャレンジし、未来に向かって変革を起こそうとすることができる方

企業理念
素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。
目指す姿
アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。
価値観
●相互の理解と尊重 ●誠実さと未来志向 ●好奇心と挑戦心

選考フロー

自由応募／事務系および技術系



学校推薦／技術系のみ

